

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

外遊びの楽しさを満喫したよ

立花いこいの森でふれあいわんぱーく



大きなシャボン玉を作るため元気に広場を走った

中山の立花いこいの森で10月23日、ふれあいわんぱーく事業がありました。この催しは、屋外で子どもたちに自由に遊んでもらおうと、親子の遊び場づくり実行委員会が主催。およそ500人の親子が、同委員会のスタッフ手作りのブランコや綱渡りなどの遊具のほか、広場でシャボン玉づくりや段ボール箱を使って元気いっぱい遊びました。また、近くの畑ではサツマイモ掘りも実施。1個2kg以上ある大きなイモを掘り上げ、周りの大人をびっくりさせる子どもの姿も見られました。

農業の楽しさが伝わったかな

認定農業者と園児が枝豆交流会



▲園児とのやり取りに思わずにっこり

柳川市認定農業者連絡協議会は10月21日、久末のJA柳川三橋カントリー前の田んぼで、保育園児との枝豆交流会を開きました。この催しには、ひまわり保育園、高畑保育園、中山保育園の園児54人が参加。収穫した黒豆の枝豆は7月に園児らが種まきをし、会員が育てたもの。園児らは、あらかじめ刈り取られた黒豆の枝から、小さな手でさやを摘み取りました。「豆ご飯ば作ってもらわね」という会員に、「豆だけのがいい」と返す園児もいて、会員の顔をほころばせていました。

健康について考える1日

柳川市民健康まつり & 市民公開講座



▲会場中が盛り上がった「赤ちゃんハイハイ大会」

水の郷で10月30日、柳川市民健康まつりと市民公開講座を行いました。会場には、生活習慣病コーナーや介護保険・福祉サービスの相談コーナーなどが設けられたほか、長田病院の木下正治院長が「肺のたばこ病(COPD)を知ろう」と題し講演しました。恒例の赤ちゃんハイハイ大会には、34人の赤ちゃんが参加。保護者は赤ちゃんの気を引くため、おもちゃやお菓子などを見せながらゴールに導こうと必死。コースの途中で泣き出す子もいて、会場はとてにぎやかでした。

1年かけて準備した作品や芸を披露

三橋文化協会 文化祭



展示された作品を鑑賞する参加者

10月22日と23日の2日間、三橋公民館で三橋文化協会の文化祭がありました。この催しは、同協会会員の日ごろの練習の成果を披露する場として毎年行っていて、今年で31回目。会場には、絵画や柳川まりなどが展示され、ステージでは歌やダンスなどが披露されました。同協会の柴田順一郎会長は「皆さんこの日を楽しみに1年かけて準備してきました。今後も続けていきたいです」と話しました。

千歯こぎはたいへんだった

垂見小児童が稲刈りと脱穀体験



手伝ってもらい千歯をこぐ児童

作物を育てる大変さを体感し、食べ物を大切にすることを育てようと、垂見小学校の3年生と5年生の児童67人が10月28日、同校近くの田んぼで稲刈りをし、昔ながらの方法で脱穀作業をしました。この日は児童が刈り取った稲を、3年生が千歯で、5年生が足踏み式脱穀機で脱穀しました。特に千歯での脱穀は力がいるため、児童の中には指導した地元農家の人から手伝ってもらった姿も。農作業の大変さを実感したようです。

俳句

おごつくは一升五合秋祭

今月の入選作品 課題「秋祭」「菊」

戸塚貴美代(今古賀)

「句評」稲の取り入れが終われば、神々とお礼を申し上げる行事が秋祭り。貴美代さんは町内の世話方として一升五合の新米を炊き「おごつく」として祭神にお供えしたと言われるのである。炊き上がったご飯のおにぎりの大きさに驚き、祭りを修する町内の方々の和やかな表情が浮かんで楽しい句に。

- ぼつてりと手まりの如き菊の花 重松秀秋 (糺屋町)
- 秋祭り太鼓にバチが宙を舞う 江口和子 (今古賀)
- 歩を緩め菊うららかなわが時間 萩尾法子 (七ツ家)
- 命日に大好きだった菊供え 池田美幸 (佃町)
- 秋祭り幟のむこうにコンパイン 平田光子 (塩塚)
- 菊の香に酔うて大関川上り 古賀治美 (南浜武)
- 新大関菊と愛称呼ばれたり 梅崎三和子 (田脇)
- 青空におすまし顔の菊人形 大城靖子 (金納)
- 菊日和庭の手入れにどん座り 森永ちづる (七ツ家)
- 紅だすき少年の舞う秋祭 黒田和代 (吉富町)
- 笛の音も代替りして秋祭 池末シツ子 (明野)
- 来年も手がかるけど菊咲かそ 井上千恵美 (蒲船津)
- 菊数多われよわれよと咲きほこり 藤吉トシ子 (佃町)
- 菊日和老いの歩幅を軽くする 小柳エツ子 (中島)
- 秋祭一舞ごとに休みけり 浦 哲之 (栄)
- 菊人形色あざやかに育ちけり 徳永エツ子 (徳益)
- 秋祭り心うきたつ笛太鼓 徳永智有 (徳益)
- 凛とした菊人形は美形なり 大橋弘茂 (百町)
- 大輪の菊のせしる普舟 中村鶴幸 (下宮永町)

◆選者の句
国宝の芝翫みまかる菊枕

鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。12月の課題は「時雨」「石路の花」です。入選作品は12月15日号に掲載します。
●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、11月30日(※必着)までにお送りください。